

No. 1398

役立てよう、もう一度

町のいたるところに見られる自動販売機。現在、清涼飲料水やビール等の容器は大部分がアルミニウムで作られている。そして、その空カンはあちこちに汚なく捨てられ、空カン公害とさえいわれる程だ。空カンの回収率は30%にも満たない。カンを作るため、原料のボーキサイトはいうに及ばず、空カンさえ外国から輸入しているのが実情だ。資源の乏しい我が国が、わざわざ空カンを捨てたまま、外国から買うというもおかしな話である。空カン10本から新しいカン8本が作られる。その上、ボーキサイトから作るよりも、空カンを再生して作る方が電気エネルギーも1/27ですむという。アルミニウムはくさることもなく何回でも再生ができる。もう一度といわず、2度、3度役立てたいものである。

近代日本画の流れ

— 浜松市美術館 —

静岡県・浜松市の浜松市美術館では、今、「近代日本画の流れ」特別展が開かれています。これは先に開かれた「近代日本の洋画展」とあわせて、明治から戦前までの近代日本美術の流れを通して見ようとするもの。近代の日本画は西洋美術の強い影響を受けながら、江戸時代以来の伝統を受け継ぎ、多くのすぐれた画家を生み出しましたが、この特別展には、横山大観、川合玉堂、鍋島清方ら、75人の名作110点が展示され、訪れた人々のためいきを誘っています。

ローマ法王来日

平和と人権擁護を説いてアジア歴訪中のローマ法王ヨハネ・パウロ二世が2月23日来日した。わが国にキリスト教が伝来して以来431年になるが、ローマ法王が来日したのは初めてのこと。来日後、ローマ法王はただちに東京文京区にある東京カテドラル聖マリア大聖堂で開かれた「聖職者のつどい」に出席した。ローマ法王の日本到着のあいさつ。「日本に来ることが出来うれしく思います。私は平和の巡礼者として、皆さんへの有情と尊敬のメッセージをもって日本にやってきました」。このあと全国から集まった4,500人の聖職者とともに日本で初めての祈りをささげた。翌24日、ローマ法王は皇居を訪門、天皇陛下と約45分間会見した。陛下は皇太子時代の大正10年訪欧された折、パチカンでベネディクト15世に会われているが天皇としてローマ法王に会見されたのは初めてのこと。会見は手織りのじゅうたんを敷きつめた「竹の間」で行われ、陛下より20才ほど若い法王は初めての出会いの時を和やかな歓談のうちに過ぎた。ローマ法王庁大使公邸で鈴木首相と会談したローマ法王は後楽園球場で行われた野外ミサに臨み、信者3万5千人と平和への祈りをささげたローマ法王は広島で注目の「平和アピール」を発表、長崎の浦上天主堂でミサを行うことになっている。